

大磯式部活動がスタート

問 学校教育課 ☎ 内線340

中学校部活動の課題



日本中で少子化が進展するなか、学校部活動を今までと同様の体制で運営することは難しくなってきました。

そこで、国は部活動を学校単位から地域単位の取組みとする方向性を示し、令和5年度以降、**休日の部活動から段階的に地域移行を図っていくこと**となりました。

一方で、国の方針どおりに単純に進め、学校部活動をなくすことになれば、部活動に所属している大部分の生徒が気軽に文化・スポーツ活動に親しむ環境が失われてしまう可能性も考えられます。

今後、少人数でチームが組めない種目の対応や部活動がなくならないよう、地域の協力を得ながら進めることが重要だべえ

学校の仲間と頑張りたい！って思う子も多いから、学校部活動も簡単になくせないわ

生徒と関わる時間を作るためにも、先生の部活負担を減らさなきゃだべえ

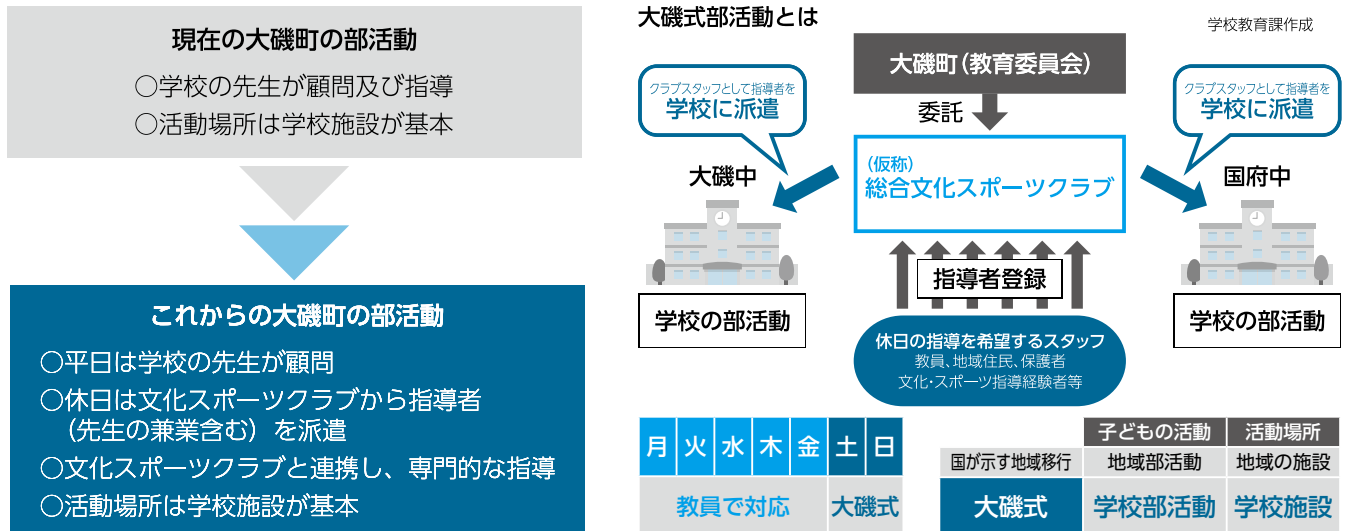


全ての種目をいっぺんに地域移行できないから、学校部活動のままでもこのまま活動できるようにしてほしいな

町の動き



こうしたなか、国の地域移行の考え方を踏まえ、町ならではの部活動のあり方を検討した結果、地域移行ありきではなく、学校での部活動という枠組みはできる限り残したうえで、**今までも部活動以外の場において、町の子どもたちに関わっていただいている大人の皆さんをはじめとした、種目指導に優れた地域の指導者を部活動指導員として登用し、町の子どもたちが安心して部活動に参加できる、大磯式の部活動の仕組みを整えること**としました。



大磯式部活動ははじまったばかりですので、
保護者をはじめ、地域の皆さんの協力が不可欠となります。
今後、様々な方法で皆さんへ周知しますので、子どもたちだけでなく、
関わる大人たち全てが **おくおく** しながら参加していただければ幸いです。
よろしくお願ひします。